

日本学術振興会
炭素材料第117委員会
第320回委員会議事録(案)

1. 日時 平成28年11月11日(金) 9:30~17:30
2. 場所 東京大学本郷キャンパス 8号館44講義室
3. 出席者 44名(順不同・敬称略)

委員長： 川口雅之(大阪電通大)

副委員長： 藤本宏之(大阪ガス)

主査： 尾崎純一(群馬大)、豊田昌宏(大分大)、吉澤徳子(産総研つくば)

幹事： 稲垣道夫(北海道大名誉)、寺井隆幸(東京大)、京谷隆(東北大)、
塩谷正俊(東工大)、長井紀雄(炭素協会)、丸山純(大阪市工研)、
棚池修(産総研東北)

委員： 新井啓哲(東海カーボン)、岩下哲雄(産総研つくば)、蛭谷玄太(クアーズ
テック)、清原健司(産総研関西)、児玉昌也(産総研つくば)、杉本久徳(日
本黒鉛)、平原聡(三菱化学)、園部直弘(クレハ)、高波浩(タンケンシール
セーコウ/代理：川村良一)、中壽賀章(積水化学/代理：野里省二)、
忠政明彦(パナソニック・エコソリューションズ)、羽鳥浩章(産総研つくば)、
福田哲生(新日鉄住金化学/代理：水内和彦)、向井紳(北海道大)、森田純子
(東洋炭素/代：森下隆広)、山下良(新日本テクノカーボン)、山根一真(戸
田工業)、宮嶋尚哉(山梨大)、尹聖昊(九州大)、河合隆伸(日本カーボン)、
早川忠明(日本工営)、斎藤幸恵(東京大)

委員外： 曾根田靖(産総研つくば)、西澤節(神戸製鋼)、入澤寿平(名古屋大)、
寺西春夫(石川カーボン科学技術振興財団)、干川康人(東北大)

同伴者他： 小原峻士(積水化学)、木村直文(タンケンシールセーコウ)、武藤剛範(新
日本テクノカーボン)、花房慶(住友電工)、菊池亮(群馬大)

4. 本委員会議事経過

4-1 前回議事録の承認

- ・ 第319回委員会議事録(案)の確認と承認を行った。
- ・ A, B, C分科会議事録(案)について、確認と承認を行った。

4-2 117委員会関連報告

(1) 委員長報告など

- ① 今回はD分科会合同を予定していたが、D分科会主査がやむを得ない事情で急遽参加が

かなわず、D分科会のみ開催は中止とすることにした。

② 会員の異動

C分科会新主査： 産総研つくば 吉澤徳子様 (※すでに報告済み)

新規委員： 東京大学 斎藤幸恵様 (※すでに報告済み)

九州大学 尹聖昊様 (※すでに報告済み)

新規委員外登録： 産総研つくば 西政康様 (※前々回発表者)

②今後の委員会計画について

下記の通り、委員会を計画している。

- ・ 第320回：平成28年11月11日(金) @東大
- ・ 第321回：平成29年4月14日(金) @東京工業大学大岡山キャンパス
- ・ 第322回：平成29年7月 @未定
- ・ 第323回：平成29年9月 @未定
- ・ 第324回：平成29年11月9日(木) @大阪電気通信大学
- ・ 第6回日独セミナー：平成29年11月10日(金) @大阪電気通信大学

322、323回については、次回までに調整の上公表する。

③ 設置継続審査について

・ 学振の産学協力委員会は全て、5年ごとに継続の審査を受けることになった。117委員会は、今年の8月23日に審査を受け、10/1より新たに5年間の設置となることが決定した。

・ 審査コメントを紹介する(原文ママ)

- 炭素樹脂自身#をさらにうまく使っていく用途開発について検討していただきたい。
- 新しい材料の廃棄あるいはリサイクルの処分について十分研究をしていただきたい。
- 若手をさらに加入させて活躍させることに尽力いただきたい。

#CFRPの意味と思われる。

④ 産学協力委員会委員長会議報告

・ 毎年開催される委員長会議が11/4に行われ、委員会間の研究会やシンポジウムの共催や、若手研究者および女性研究者の積極的な参画への取り組みを考えてもらうよう、要請があった。

⑤ 117委員会運営規則の改訂について

・ 新たな設置期間に入ったことに合わせ、運営規則(内規)の改訂を行う必要があり、幹事会で作成した原案を本委員会で説明、承認された。本日11/11より施行される。

・ 現状に合った内容への更新が主であり、特に会員に手続きや変更をお願いする事象はない。

⑥ 70周年記念誌について

・ 117委員会は平成30年に70周年を迎えるにあたり、60周年記念誌にならって記念誌を発刊する。仮題は「炭素材料科学の進展」として、内容の検討を幹事会で進めている。

・ 執筆内容は、過去10年に委員会で発表・講演の話題となったトピックスを中心に選抜する予定。対象となる方には、近日中に執筆の相談をするので、前向きに検討をお願い

する。

⑦ 日仏セミナー報告

・9/9-9/10 に、日仏セミナーが配布議事録の通り盛況に開催された。開催報告と写真を 117 委員会ホームページに掲載済み。

(2) 分科会資料 (発表順)

- 117-320-C-1 CF RTP から熱分解法によって回収したリサイクル炭素繊維の損傷評価
(名大工) ○入澤寿平、岩村亮介、氏原研人、新竹礼佳、田邊靖博
- 117-320-C-2 黒鉛質炭素繊維の極微細エッチング処理によるバナジウムイオン酸化還元反応の促進
(大阪市工研) ○丸山純、長谷川貴洋、岩崎訓、福原知子、
(住友電工) 花房慶
- 117-320-A-1 表面化学性状の異なる炭素被覆アルミナナノ粒子を用いたゴム-フィラー界面構造の解析
(東北大) ○干川康人、川口玲、石井孝文、京谷隆、(ブリヂストン) 赤羽秀信、山田浩
- 117-320-A-2 Selective Modifications of Surface and Structure of Carbon Anode for Enhancing Rate Performance in Li-ion Batteries
(九州大) 中林康治、宮脇仁、○尹聖昊
- 117-320-B-1 昇温脱離法によるカーボン材料中に含まれる窒素の定性・定量分析
(群馬大) ○菊池亮、石井孝文、尾崎純一
- 117-320-B-2 炭素繊維の熱膨張測定試験装置の開発
(産総研つくば) ○岩下哲雄、山田修史、渡辺博道

4-3 その他報告事項

(1) 炭素材料学会近況報告

➤ 羽鳥委員 (学会運営委員長) より学会運営について以下の報告があった。

- ・セミナー関係の宣伝があった。10 月セミナーは終了、1 月セミナーは来年 1/20 に「グラフェンから始まった二次元物質の最新動向」というテーマで開催される。
- ・本年度の年会は千葉大・けやき会館で開催される。特別講演、特別セッション、インターナショナルセッションについて、講師等の紹介があった。

➤ 曾根田会員 (学会編集委員長) より以下の報告があった。

- ・275 号は予定通り 11/15 に発行される。特集号「グラフェンの科学と応用」。年会のプログラムも掲載されている。
- ・276 号は 1 月頃発刊予定。投稿が少ない状況なので、ご検討いただきたい。

➤ 入澤会員より炭素材料夏季セミナーについて報告があった。

- ・今年度は長野で遠藤幹事、羽鳥委員の講演などにより盛況に開催した。
- ・来年は、北海道で 2 泊 3 日で開催予定。再来年は名古屋で開催予定。

(2)国際会議関係

- ・ CARBON2017 はオーストラリアのメルボルン、CARBON2018 はスペインのマドリード、CARBON 2019 はアメリカのケンタッキーでそれぞれ開催される。
- ・ 尾崎主査より、京都で開催される CARBON2020 についての準備状況が報告された。9 月には会場視察を行った。進展があれば、また報告する。

(3)CARBON 誌関係

- ・ 近いうちに、新しいオンライン投稿システムが導入される予定である。

(4)その他報告

- ・ 特になし

(以上)